長岡市指定文化財『聖徳寺庭園』池浚渫事業について

資料№２

名　　　称：市指定文化財　記念物名勝「聖徳寺庭園」

管　理　者：聖徳寺（長岡市寺泊荒町3032）

指定年月日：昭和51年４月１日

概　　　要：江戸時代中期頃に作庭された、広さ1,245坪の庭園。千石船で運ばれた大和の石を使い、設計は京都の庭師によるものと伝えらえる。地形を活かして築山・池・滝・木石等を配置した、池泉回遊式庭園である。

池は山からの湧水により満たされているが、毎年わずかな土砂の堆積があり、寺では15年ごとに浚渫作業を行ってきた。前回の浚渫（平成15年）から15年が経過し、水深が10ｃｍ未満の箇所もあるため、今年度浚渫作業を行ったものである。

作業では大型吸泥車（バキュームカー）を使用して、池に沈殿した汚泥を吸い出した。工事は令和元年５月７日に着手され、同年７月９日に完了した。

|  |  |
| --- | --- |
| D:\hippi（保存版）\指定文化財\聖徳寺\聖徳寺庭園\181025聖徳寺の池\DSCN0199.JPG |  |
| 施工前 | 施工後 |
| G:\img052.jpg | G:\img052.jpg |
| 作業風景① | 作業風景② |